## 独特の感性

富田林市で障がい福祉サービスを提供する合同会社「工房はんど」がオリジナルの障がい者アート作品を生み出している。トートバッグやカード入れなど独特の感性が光る作品がかりだ。工房はんど代表の安野(いる)は「利用者が描くアート作品には、人の心に訴えかける癒やしの力がある」と説明している。

加してアート作品を販

催する「第3回福祉未

১ (০০০ · লতাৰতা

数多くのイベントに参

## 癒やしの絵 障がい者が描く

は、数多くの作品が陳列

工房はんどの入り口に

2016年12月に工房

富田林・工房はんど

されている。オリジナル

分には描けない」と自信

ートバッグ、カラフル

売。送られてくる写真を来価値創造大賞2015810)。

な魅力がある」と信じ、不思

画を描くなどの創作活動

トートバッグなどオリジナル作品を示す安野器さん=富田林市の工房はんどで

し、午後にさまざまな絵

安野さんは、障がい者

中に内職の作業をこな

21人の利用者は、午前

手作りの温かさが表現さなど一つ一つの作品に、

な布製品、キーホルダー

品が生まれるようになっ 気よく勧めてアート作 を持てない利用者に根

> 文も受けている。NP 〇法人「ディープピープ ティストが似顔絵を描 もとに工房はんどのアー く「似顔絵はんこ」の注 (大阪市西区)が主 問い合わせは、工房はん のアート作品を世の中に る人がいる。工房はんど 広めたい」と話している。 企業との連携も進めてい 9」で表彰されるなど やね」と応援してくださ ト表現があり、 ちだけに可能となるアー 安野さんは「この人た ずてき

を行っている。

一これは

という声で布地にデザイテキスタイル(布)や」

ンが採用されるようにな

2020年1月5日(日) 毎日新聞